



ソーシャルディスタンスを踏まえた授業

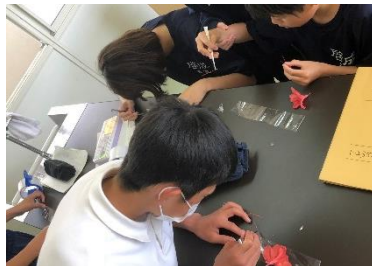
5月14日(木)から学校が再開し、学校に子どもたちの声が響き渡っています。やっぱり子どもたちがいない学校は考えられません。本当に私たち教師も、毎日楽しく学校生活を送っています。

各教科でも感染拡大防止のためにソーシャルディスタンスを取った授業展開をしています。残念ながらペア学習やグループ討議形式をとらない授業で学びを深めています。例えば、英語では、リーディングを先生と1対1で行ったり、音楽は音楽室でなく体育館のピロティーを使って合唱したり、体育も大きくカリキュラムを変更したりと、この休校期間に知恵を出し合った、新たな学びの姿を生み出そうとしています。



子どもたちも、4月当初の学校再開同様に、「学びたい！」という思いがすごく感じられます。授業態度もよく、一斉授業ですが、先生の話を食べるように聞き、的確に質問に答えたり、質問したりできています。子どもたちの「学びへの意欲」に圧倒されています。

休み時間には、空き教室で先生と勉強する姿や授業でやり残したものをやる生徒の姿も多く見られ始めました。



朝のあいさつが最高！

朝の登校も昨年より5分早く、8:55分には登校坂を登る生徒はいなくなりました。また、特に1年生のあいさつが素晴らしく、大きな声が聞こえています。また啓成中学校が求めている一つであ

る「立礼」も、しっかりと立ち止まり、あいさつと礼ができる子どもたちが増えてきました。この調子で、立礼の輪がどんどん広がってほしいと思います。



県中学総体の中止

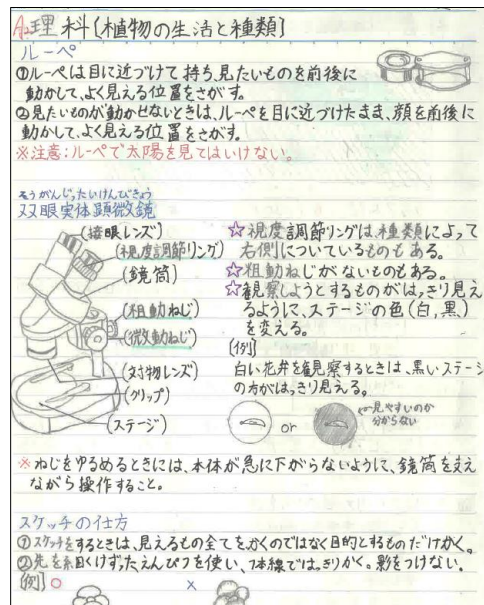
大変悔しいですが、佐賀県中学校夏季総合体育大会が中止になりました。中学3年間の大きな目標であったこの大会でしたが、新型コロナ感染拡大防止と子どもたちの安全を考えると、やむを得ないものなのかもしれません。伊万里・西松浦地区では、せめて3年生の最後の成果を見せる場の地区大会の開催を模索しているところです。佐賀県の吹奏楽コンクールも中止が決定していますので、学校内でも、いろんな場面で、3年間の部活動の集大成の場を設定していきたいと考えています。



凡事徹底、継続は力なり！

今年度は全学年共通で、漢字と自主学習ノートは必ず提出することになっています。宿題の提出状況も「100%です！」と言いたいところですが、90%近くの生徒が毎日提出しています。

1年生もよく頑張っており、図を描いたりして、丁寧に学習内容がまとめられています。



↑ 1年生の自主学習ノートです。クオリティの高さにびっくりです。